

## 庁舎整備特別委員会審査報告

今定例会では、庁舎整備にかかわる事務の調査を行い、当局から、庁舎整備事業基本設計業務委託プロポーザルの進行状況や設計者選定後の基本設計完成までの進め方(案)などについて報告がありました。

主な質疑に対する答弁の概要は、次のとおりです。

【プロポーザルの第二次審査において技術提案書等のプレゼンテーション及びヒアリングを一般公開する理由】プロポーザルに関する国のガイドライン及び本市の実施要綱によれば、公表は契約の相手方の名称などで足りることになっているが、庁舎整備事業については市民の関心も高いことから、提案内容等を公開することにより、透明性を確保したい。

【選定委員会の審査を非公開としている理由と審査結果の公表】選定委員から忌憚らない意見を出してもらうため、さらには、審査内容がプロポーザル参加者に対する評価であり、プライバシーにもかかわる内容であるため、選定委員会は非公開とし、審査結果については、最優秀となった者はもちろんのこと、それ以外の者についても、企業名は伏せながらある程度の評価内容は評価書に示すことになると考えている。

### 【基本設計についての市民説明会及

びパブリックコメントの実施時期】ある程度設計がまとまった段階で行いたいと考え、11月下旬ころを想定しているが、最終的なスケジュールについては、設計者と協議の上決定したい。

【プロポーザルへの参加者の内訳】参加申込者は9者であったが、資格審査の結果8者を選定している。その内訳は、設計共同企業体が3者で、うち2者には市内の事業者が構成員として入っている。残りの5者は県外の単体企業である。

【プロポーザルの参加資格要件における地元企業への配慮】市外の企業に対しては、延べ床面積7,000平方メートル以上の国または地方公共団体の庁舎の新築工事にかかる実績を求めているが、市内の企業については、能代市が発注した延べ床面積3,000平方メートル以上の公共施設の新築工事の実績に要件を緩和し、参加しやすいよう配慮している。本事業は、事業規模も大きいことから、一定以上の技術が必要だと考えており、実績等最低限の条件を設定した。

【プロポーザルにおける中心市街地の活性化やまちづくりへの波及効果の提案】技術提案書等の提案課題の一つに、「中心市街地に位置する立地特性から周辺環境、景観に配慮した外観イメージとまちづくりに寄与する交流拠点や駐車場の整備に関する考え方」と明確に示している。

## 常任委員会行政視察報告

### 総務企画委員会

◆視察月日 7月3日～5日

◆視察市 新潟県 阿賀野市

新潟県 新潟市

#### ◆視察項目

- ・阿賀野市事業評価プロジェクト
- ・新潟市GISの活用

### 事業評価プロジェクト

厳しい財政状況下、行政評価の検証を重視し必要性、有効性、費用対効果を精査し経費削減と財政確保を目的としている。評価作業は、事業概要説明、質疑、結論まで40分で1事業を実施。事務事業評価シートを改良し、効率化を図っている。また担当職員が常に業務の目的、必要性、今後の取り扱いを検証するため、事業ものさし(自己点検票)を作成している。本市も導入すべき取り組みである。4町村合併の課題として支所の規模を縮小するがサービスの低下を抑える方針だった。

### GISの活用

GIS(地理情報システム)とは、地理的位置を手がかりに位置に関する情報でのデータを総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な政策判断を可能にする技術。人口減少の観測や都市経営への

応用事例の説明では、能代市の1980年2010年の状況、2040年の推計を大型画面で、人口集中地区や住んでいない地区を色分けであらわした。そこから、例えば空家急増への対処や公共交通政策をどうするか、など課題が見える。新潟市巻町の50年後、人口集中地区は消滅するが下水道整備しており、将来遊休化する所の整備の在り方、合理的な政策説明が必要になる。GISによる資料は、地域の合意形成の手段として有益である。目的を達成するため、政策の道具として検討すべきで、コストをかけない導入方法についての説明があった。導入を検討している本市に対し、助言していただけたことだった。

(安岡)



新潟市役所前にて